

朝日岳・雪倉岳

1989年3月18日～21日

メンバー L西川克之、柴崎松夫

下りのラッセルで入山

3月18日 晴れ上部地吹雪

連休初日で降雪直後だったため蓮華温泉へトップでの入山は出だしを降いて全く滑らず、後進のためにトレースをつけるボランティアになった。

根地スキー場を出発し、林道をショートカットしようとして雪上車の轍をはずれようとたまにラッセルにあえぐはめになる。成城小屋でトレースも完全になくなり、もう十分に働いたころに休みする。ところがほんの15m後に何パーティーもいたのに5分たっても10分たっても来ない。やっと3～4パーティーやりすぎしたが、天狗原に出て気がついてみると水もいない。知らぬまにまた先頭になっている。この地吹雪では休むどころか目もあけていられない。天狗原を横断し振り込みに滑りこむ。はじめのうちこそスキーは進んだものの、傾斜がゆるむと全く滑らない。しかも穴があいて水流がみえている。もはやシールをつけて下りのラッセルをするしかない。2時間の労働の末ようやく蓮華温泉に到着した。わ水わ水は今年最初の雪だった。登山者も一行7人でやってきた。後から来た人は天気もよくなりトレースに乗れば滑るので苦労はなかったようだ。

橋がない朝日岳

3月19日 快晴

雪倉岳は昨年柴崎氏は登っているのが最初に朝日岳に行くことにした。登山氏の一行から田村氏も加わり3人で出発した。今の雪質ではトレーズをはずすと全く滑らないので、雪倉岳へのルートをもたどり滝見尾根で別れた。しかし、ないのである。何が。瀬戸川の橋が。立派な橋があるという話だが、地図で正確に位置を定めてあるべき地点をみても影も形もない。いくらさがしても何もなし。ついに雪で埋った上流部を渡り、雪壁状を強引に登って左岸に上がった時はすでに11時だった。

いろいろ考えて、橋は地図よりもっと下流にあるのだろうということになった。田村氏は2万5千図に夏に行った時の赤線を引いているが、瀬戸川前後は空白のままであり地図とは違っていたらしい。田村氏と柴崎氏はなぜか下流をめざすので、私には不思議だったのだがその水で納得がいった。夏の記憶にもとずいていたのだ。

瀬戸川左岸に渡ってすでに11時、もう聞きなかりの心境であるが、正しいルートのトレーズに合流すればと一縷の望みをたないでとにかく進んだ。しかし尾根を巻くラッセルでさらに消耗し、ようやく平坦な白高地帯に出たが、トレーズは全くなかった。始めに朝日岳に行く人は少いだろうからラッセルの不利等当然予想されたのだが、少いどころか水水水以外には全くいなかったのだ。ともかく行けるだけ行って1時15分、冷い風も吹いてきたので1750m付近で終了とし、往路をひきかえした。めざす朝日岳ははるかかなただった。しかし今日もよく働いた。

帰って鈴東氏の昭文社の地図を見ると、なんと橋はまさしく下流の死馬の平をすぐ下りた所に記されている。2万5千図はもするん私の昭文社のは古かったのだ。その他山スキールート図集等も古い。

爽快、雪倉岳

3月20日 快晴

本日もまた絶好の天気、今日は雪倉岳に行く。瀬戸川はスノーブリッジが一ヶ所しかない。ここで一休み。雪倉の滝の左の沢から尾根を乗越して沢に入ると、巻山ルートはそのまま沢をつめるのだが、トレースは皆右の尾根に上がっているのでもれに従った。1936m地点でそのまま尾根を行くが、左にトラバースするか考えたが、トラバースを選び沢ルートに上部で合流した。頂上へ続く広い尾根はあまうララストしている所もあるが柔かい所を選んでスキーアイゼンがあれば快調に登れる。高度感もあり爽快。大剣面の先にやぶっぽい所があり頂上がなと思っていたらそこがやっと真の頂上が登場と見えてきた。確かに長い。水でも瀬戸川から休まずに登るとる時間半だった。

十分に展望を楽しんでから滑りはじめる。斜面は広く雪もしまっていて快適。まだまだ続々と登ってくる。1936m地点で一休みするとあまりの天気のおかげのため谷底からどんどんモヤがおしよせ全く視界がなくなった。ルートは正しいことはわかっていすがやはり慎重に下って瀬戸川に出た。本日は快適、楽勝。3時前には蓮華温泉に戻った。

最後まで快晴

3月21日 快晴

朝方くもり加減に見えたが、結局また曇一つない好天。下山日には惜しい天気だ。角小屋峠から雪倉・朝日がかっきりと見える。今年は里は雪が少いようで木地屋の手前で徒渉し、木地屋の少し先で歩きになった。(西川 記)

コースタイム

3月18日

榎地林道入口 8:35 → 1900m 9:30/9:45 →
天狗原 10:55 → 蓮華温泉 14:00

3月19日

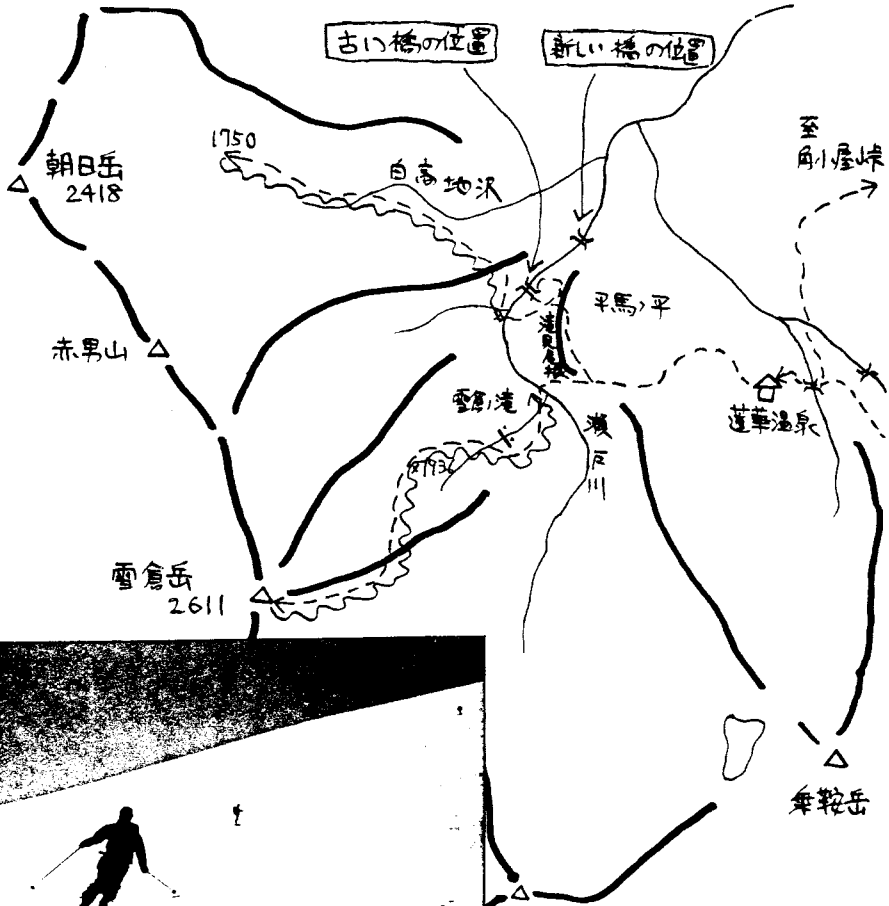
蓮華温泉 7:10 → 滝見尾根分岐 8:05 → 瀬戸川左岸 10:45/11:00
→ 白高地沢 1750m 13:15/13:35 → 瀬戸川 14:35
滝見尾根分岐 15:45 → 蓮華温泉 16:20

3月20日

蓮華温泉 7:20 → 瀬戸川 8:10/8:20 → 1936m 9:50/10:00
→ 雪倉岳 11:50/12:35 → 1936m 12:55/13:15 →
瀬戸川 13:50 → 蓮華温泉 14:55

3月21日

蓮華温泉 7:35 → 角小屋峠 9:00/9:40 → 大所 11:20



雪倉大斜面を爽快に飛ばす
柴崎氏の雄姿○